

日本共産党 情報公開第2弾で浮き彫り 民設民営ごみ焼却場 予定地とん挫。市が掛川市へ

9月4日 情報公開の内容	
2023.6.23	日鉄ステンレスとの交渉
2023.7.3	JERA碧南火力発電所との交渉
2023.7.11	JERA本社との交渉
2023.7.18	部長、課長、係長が掛川市に
2023.7.25	中部電力との打ち合わせ
2023.8.17	県資源環境推進課打合せ
2023.8.21	庁内プロジェクト会議資料

日本共産党の「攻め」が追い詰める

6月2日に碧南市と中部電力(株)が「ごみ焼却場の民設民営」を打ち出しました。日本共産党は、情報公開を6月15日に請求。6月26日に受け取りました。

6月議会の一般質問では、山口はるみ議員の質問にほとんど答弁を拒否しました。しかし情報公開には2月6日に、市の部長・課長・係長が中部電力に出かけ打ち合わせをしたことが明らかになりました。

市が後追いの掛川市視察

日本共産党は、その後、7月11日に、民設民営化を市民運動で撤回させた静岡県掛川市に行き、日本共産党市議団と懇談、現地視察をし、7月16日付碧南民報サンデー版で報告しました。市は後追いで7月18日に掛川市に行ったことも、情報公開でわかりました。

県が難色「多目的グラウンド」

また、ごみ焼却場建設場所も、市が早々に指定した2号地多目的グラウンドは、県用地で

両市・組合の新設への決断を急げ

現在のごみ焼却施設は1995年竣工。すでに28年経っています。通常、こうした施設は耐用年数30年間問われています。築19年の2014と2016年の3年間で、総額36億円(うち国費12億円)の基幹改良工事を行い9年が経ちました。今後、安城市の施設が耐用年数を迎える2052年まで29年間あります。とてもリニューアルでつなげられません。建設には環境アセスメントや工事期間で最短でも6年はかかります。

今、必要なのは両市と組合が、自立した新築への決断をし進めることです。処理能力も小さくして、ごみを出さない、リサイクルする事を本気で市民とともに進めることです。

創立61年の衣浦衛生組合を守れ

現在の衣浦衛生組合は、1962年設立。し尿処理から始まり、4年後にごみ処理も開始して現在に至っています。CO2の算出も

あること、港湾計画に触れることなどで難色が表示されています。市は6月23日に日鉄ステンレス(海浜水族館前)と交渉。あっさり断られています。7月3日にはJERAの灰捨場利用を交渉し断られています。

産廃には交付金出しませんII環境省

9月6日、山口議員は環境省に電話。「中電のことは聞いています。しかし産業廃棄物には国の交付金は出せません。法律で事業所の責任となっています」と、指摘されました。

広域化前提ではないII環境省

また環境省は「安城市が2052年までのごみ処理施設改修を決定し、広域化は不可能。碧南・高浜が新設をする場合、交付金は出ないのか」との間に「各地域の事情があるので、碧南高浜の新設施設にも交付金は支給可能」と回答されました。

各種の統計数字も詳細に測定管理し、安心安全のごみ処理、斎園、し尿処理を始め、市民の憩いの場所、プールや入浴施設も管理しています。リサイクルセンターは、ごみの学習場所や「もったいない」精神の象徴施設となっています。このような職場と、ここで懸命に働く仲間を切り捨てていいのでしょうか。

行政は今こそ、安定した職場と雇用を守ることにこそ責任をはたすべきです。

ごみも、水も、下水も、教育も、福祉も……みんな利益を当てにしないからこそ公務労働として市民サービスの提供がされています。恩を仇で返すような「民設民営」はきつぱりやめさせましょう。

組合 1階トイレ洋式化完成

日本共産党は、分別職員や女性職員のために和式だけの1階トイレを洋式にと議会で要求。2023年度予算343万円。1階3室2階3室が完成。喜ばれています。組合守ろう。快適職場に!!

年月	内容
1953.5	市営焼却場完成 10t/日
1962.4	衣浦衛生組合設立 し尿処理開始
1967.7	ごみ焼却炉完成 50t/日
1973.1	ごみ焼却炉完成 1号炉 90t/日
1980.12	ごみ焼却炉完成 2号炉 90t/日
1995.1	ごみ焼却炉完成 190t/日 95t/日×2基
2014~2016	基幹改良工事 36億円
2023年	2度目の基幹改良工事予定
2023.6.2	中電への民設民営。産業廃棄物と混焼検討
2039	両市と組合が2度目の基幹改良で10年延命検討
2052 (29年後)	安城市ごみ焼却場の最終耐用年数

《統一協会2世被害者》

「統一協会を後世に残したくない。一日も早い解散命令を」

解散命令請求否定せず

統一協会問題 野党「プランングで文科省

統一協会問題に関する野党国対ヒアリングが4日、国会内で開かれました。文部科学省の文化宗務課長は、解散命令請求の検討について「報道が正しかったとか、間違っているとかいうことは差し控えたい」と述べ、否定はしませんでした。

隠へい・散逸させない措置を

「全国統一教会被害対策弁護士」の阿部克臣弁護士は、現行の宗教法人では、解散命令請求後に財産保全の手続きがなく、統一協会側に財産隠匿や散逸の可能性がある、「不備がある」とし、「秋の国会では財産保全の特別設置法を速やかにつくっていただきたい」と訴えました。

宗教法人格のはく奪を

信者2世で被害者の「もるすこちゃん」（仮名）と、母親が信者で約1億円の損害を被った女性（60代）が参加。本名と顔を出して被害を訴えてきた橋田達夫さんがオンラインで参加しました。

もるすこちゃんは、幹部たちがいまだに金銭的利益を得るため、信者をだましており「宗教法人が会計情報をブラックボックス化する隠れみのになっている」と指摘。統一協会の宗教法人格の剥奪のための解散命令は「問題解決のためのスタートラインだ」と発言。橋田さんは「統一協会を後世に残したくない。一日も早い解散命令を」と訴えました。

他の宗教団体も統一協会との違いで後押しを

統一協会問題に詳しいジャーナリストの鈴木エイト氏も出席し、内閣改造で統一協会と関係の深い安倍派の議員が文科相になることを懸念しつつ、こうした流れにストップをかける動きとして「他の宗教団体が、自分たちは悪質性のある統一協会

とは『違うんだ』ということを明確にして、国の動きを後押ししてほしい」とコメントしました。

徹底追及 統一協会

集団結婚

5月世界各地 本人意思で選べず

統一協会（世界平和統一家庭連合）が5月に韓国など世界各地で集団結婚の式典を開き、公式発表で約8000組のカップルが参加したことが3日までに分かりました。統一協会の問題に詳しい弁護士は「信者に婚姻の自由を認めず、教義に基づく結婚をさせることは人権侵害だ」と批判しています。

人権無視の洗脳→献金

統一協会は5月7日、本部がある韓国・清平（チヨンピョン）の関連施設「清心平和ワールドセンター」で集団結婚の式典を開きました。集団結婚で大規模な式典を開くのは3年ぶりです。その様子を写真つきで報じた統一協会の月刊誌『世界家庭』によると、式典には56カ国から約1300組の新郎新婦たちが集まりました。

開祖・文鮮明（故人）の妻である韓鶴子総裁が金色の衣装で登場し、「祝祷（しゅくとう）」と称したスピーチや新郎新婦たちに指輪を贈るなどして特別なムードを演出。「真の父母様（開祖夫妻）の恩賜で、宇宙の前に聖婚が成立したことを宣布します」と述べ、ステージ上で歌を披露しました。この日は全世界で集団結婚の式典が開かれ、150カ国の約8000組が「祝福を受けた」とされます。日本と台湾からも1270人が参加し、そのうち約600人が韓国での式典に出席したと報告しています。

マッチングで入会

統一協会で集団結婚は「最も尊い宗教儀式」とされ、1960年から毎年のように式典を開催しています。参加費として信者が70万円、信者2世

は20万円を献金することになっています。当初は開祖・文鮮明が選んだ異性と強制的に結婚させ、どんな相手であっても断ることができないとされてきました。

統一協会のホームページによると、現在は専用の「マッチングサイト」に登録し、全国各地の「家庭教会」にいるスタッフから相手の紹介を受けるというシステムです。

自由な恋愛禁止

救済に取り組み渡辺博弁護士は「近年では『結婚相談』と書かれたチラシを配り、未婚の男性を勧誘する例もあります。統一協会は信者に恋愛を禁じ、本人の自由な意思で結婚相手を選ぶことも認めていません。協会の意のままに信者を振り回すことは人権侵害であり、結婚後の配偶者からの暴力や児童虐待の問題にもつながっている」と指摘します。

大軍拡・増税許すな

へきなん 19行動

9月19日（火曜日）午前11時～12時

ピアゴ碧南東店

東浦町6-17（日進小学校南）

<http://hekinan.jcpweb.net/>
日本共産党碧南市議員団のホームページをご覧ください。



日本共産党碧南市委員会



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
岡本守正
☎41-5357
笹山町 6-29



市民運動部長
磯貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253

